

その咳、本当に風邪ですか？ 結核に御注意ください。



◆結核は、空気感染する感染症です！

学校・塾では、集団で同じ空間で長時間過ごすことから、誰かが結核を発病すると、集団感染につながるおそれがあります。

◆結核は過去の病気ではありません！

結核はどの年代の人も感染、発病する可能性があります。都内では、新たに年間約1,500人が結核と診断されています。

◆結核の早期発見が、集団感染を防ぎます！

周囲へ感染させる病状になる前に、診断と治療ができれば、感染拡大を防ぐことができます。周囲へ感染させるおそれのない場合は、通院治療が可能です。

結核の感染拡大を防ぐためにできること

- ◆早期発見…教職員や生徒・学生の胸部エックス線検査の結果を確認しましょう。
- ◆早期受診…2週間以上続く咳やたんなどの症状がある時は、結核を疑い医療機関受診を促しましょう。
- ◆日頃から健康管理の重要性や、結核の知識を啓発しましょう。

若い世代でも結核を発病しています

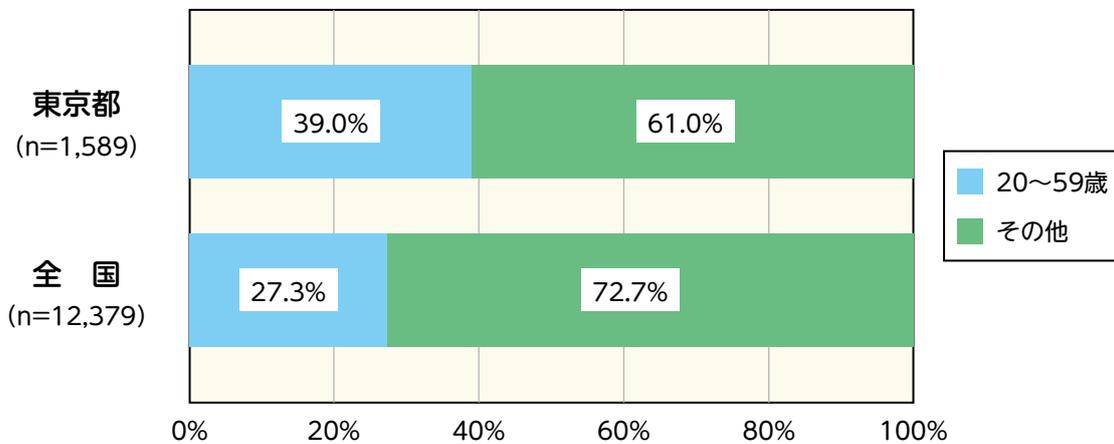
- 都内では、年間約1,500人が新たに結核を発病しています。若い世代の結核患者が多いのが東京都の特徴です。

新登録結核患者数及びり患率*(令和2年)

	全 国	東京都
新登録結核患者数(人)	12,739	1,589
り患率(人口10万人対)	10.3	11.3

※り患率:人口10万人当たりの患者数

新登録結核患者に占める20~50歳代の割合(令和2年)



学校・塾でも結核は発生しています

- 学校・塾で感染性のある結核患者が発生した場合、長時間、集団で、狭い空間で過ごすため、多くの人が接触者となることがあります。特に、教職員が結核を発病した場合は、講義や指導等で多く話す機会があり、生徒・学生に感染させる危険性が高く、大規模な接触者健診を行うことがあります。

都内の属性別新登録者数(人)

属 性	H28年	H29年	H30年	R1年	R2年
教員・保育士	9	6	14	8	3
小中学生	3	3	4	1	2
高校生以上の学生	197	175	184	102	52

学校・塾で結核感染が拡大した事例

都内学習塾における結核集団感染事例(平成17年報道発表資料)

都内学習塾の講師が結核を発病。講師と接触した生徒、講師、保護者366人を対象に健診を実施した結果、178人の感染者が確認され、うち、62人が発病した。

この事例では、気密性の高い建物、マンツーマン方式指導などの環境が感染拡大の要因となった。

都内日本語教育機関における結核集団感染事例(平成28年報道発表資料)

都内の日本語教育機関の学生1人が結核と診断され、関係者の調査を行った結果、53人が結核に集団感染し、うち13人が発病した。

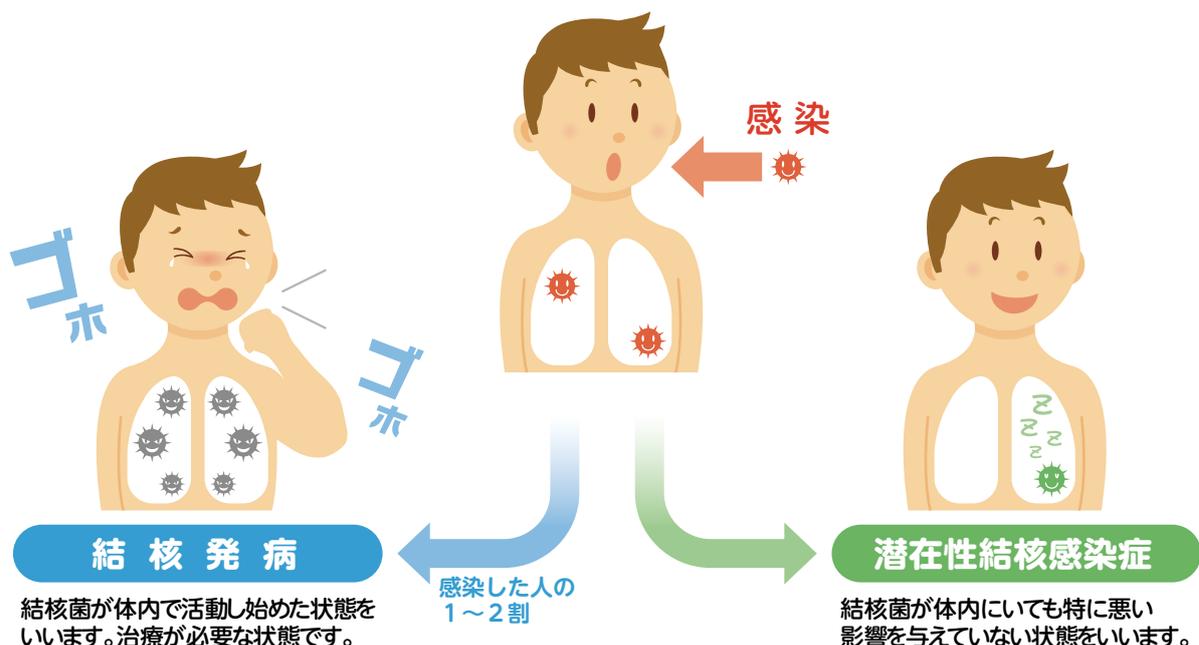
この事例では、患者と感染者が、狭い空間で、長時間の接触があり、このことが感染拡大の要因となった。

結核とはどのような病気でしょうか(基礎知識)

1. 結核の感染と発病

- 結核は、排菌*している患者の咳やたんに含まれる結核菌が、空気中に飛び散り、周囲の人が空気中に漂っている菌を肺の奥まで吸い込むことで感染します。(空気感染)
- 感染後に、結核菌が体内で活動し、身体の異常や症状が現れると発病となります。
- 感染した人の1～2割が発病すると言われています。多くは感染後6か月から2年で発病しますが、感染後長い時間を経てから発病する場合があります。

*排菌:結核を発病している人が、体の外に結核菌を出すこと



2. 結核の症状

- 咳、たん、発熱(微熱)、食欲不振、体重減少、寝汗、強いだるさ等、風邪の症状に似ているため、発見が遅れることがあります。

こんなときは医療機関へ!!

咳、たんが2週間続く



微熱が続く



急に体重が減る



体がだるい



3. 結核の治療

- 服薬治療が基本です。結核の一般的な治療は、4種類もしくは3種類のお薬を6か月以上飲む治療を行います。毎日、忘れずに服薬することが重要です。
- 服薬が不規則になったり、中断すると、症状が悪化したり、薬の効かない薬剤耐性の結核菌を作ってしまいます。
- 患者が排菌し、周囲に感染させる危険性があるときは、入院治療を行います。周囲への感染のおそれがない場合は、通院治療となります。

日頃からの対策

結核の集団感染を防ぐには、排菌する前に発見(診断)し、治療を行うことが重要です。

○胸部エックス線検査の実施による早期発見

- 結核の早期発見のため毎年行われる定期健康診断で、生徒・学生や教職員の胸部エックス線検査の結果を確認しましょう。症状がなくても、胸部エックス線検査で、結核が発見されることがあります。そのため、検査結果に異常がある人の精密検査結果も、健康管理の担当者が必ず確認しましょう。

○早期受診の勧奨

- 生徒・学生、教職員に、2週間以上続く咳やたんなどの症状があるときは、結核を疑い、医療機関の受診を促しましょう。受診の遅れは、集団感染を招きます。

○健康管理と咳エチケット

- 日頃から、生徒・学生、教職員に対して健康管理の重要性を啓発しましょう。
- 教職員に、正しい結核の知識を啓発しましょう。
- 教職員に咳やくしゃみなどの症状がある場合には、可能な限り講義を控えさせましょう。
- 生徒・学生、教職員に、マスク着用などの咳エチケットを守ってもらいましょう。



マスクの着用



咳などがとっさに
出そうな時は口と鼻を
ティッシュで覆う

結核患者が発生した時の対応

○結核患者が発生し、周囲に感染のおそれがある場合

- 保健所が、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第15条の積極的疫学調査に基づき、施設調査を行います。
- 保健所は、調査の結果、必要があるときには、同法第17条に基づき、患者と接触し、感染のおそれがある者に対して接触者健診を実施します。

○接触者健診

- 保健所が健診の計画を立て、適切な時期に必要な検査(下記)を行います。
- ◆血液検査(IGRA(イグラ)検査):感染しているかどうかを調べる検査です。
- ◆胸部エックス線検査:発病していないかを調べる検査です。
- ◆ツベルクリン反応検査:感染の有無を調べる検査です。原則として、6歳未満の未就学児に行います。

○説明会

- 必要時、接触者健診の前に、生徒・学生、保護者、教職員等を対象に、学校・塾が、保健所と連携して、説明会を開催します。

○接触者健診後の対応

- 保健所と接触者健診(全体)の結果を確認し、教職員、保護者等への説明をします。
- 保健所から依頼があった場合は、保健所と連携しながら、服薬が必要な人の服薬支援を行います。

○患者への対応

- 結核を発病した人が、入院治療を終え、学校・塾に戻ってきた時は、周りに感染させる心配はありません。
- 私たち一人ひとりが、結核についての正しい知識を持ち、患者さんが安心して治療できるよう支えましょう。

結核患者発生時の対応(例)

	保健所	学校・塾
調 査	<input type="checkbox"/> 学校・塾の対応担当者を確認 <input type="checkbox"/> 学校・塾に対する調査の実施 (保健所が確認すること) 接触者の把握、施設的环境、患者の症状、生徒・学生・教職員の定期健康診断実施状況、有症状者の有無 等	<input type="checkbox"/> 学校・塾内で対応担当者の決定 <input type="checkbox"/> 保健所が行う調査への協力 ・調査内容は左記 ・接触者リストの作成と提供 <input type="checkbox"/> 学校医等への報告 <input type="checkbox"/> 教職員への説明
結核対策検討会と説明会の開催(必要時実施)	<input type="checkbox"/> 所内検討会もしくは、結核対策検討会の開催(必要時) (出席者)保健所、学校・塾担当者、医療機関、結核専門医、学校医や行政担当者など (内容) 調査結果を共有し、今後の対応方針を検討 <input type="checkbox"/> 接触者健診の実施方針の決定 対象者、実施時期、実施方法等 <input type="checkbox"/> 保護者等説明会の準備(必要時) ・説明会開催に向けて学校・塾を支援 <input type="checkbox"/> 保護者等説明会への出席(必要時) ・結核の知識、接触者健診の実施方針を説明	<input type="checkbox"/> 結核対策検討会への出席(必要時) <input type="checkbox"/> 保護者等説明会の準備(必要時) ・会場、対応職員の確保 ・参加者名簿の作成 ・開催通知の作成・配布 等 <input type="checkbox"/> 保護者等説明会の開催(必要時) ・経緯、健診後の対応等の説明、学校・塾に対する質問への対応 等
接触者健診の実施	<input type="checkbox"/> 接触者健診の実施 <input type="checkbox"/> 接触者健診実施結果の評価 必要に応じて接触者健診の拡大も検討	
健診実施後の対応	<input type="checkbox"/> 接触者健診結果(個別)の受診者本人への説明 <input type="checkbox"/> 接触者健診結果(全体)の学校・塾への説明 <input type="checkbox"/> 必要に応じて、服薬が必要な方への服薬支援を学校・塾に依頼	<input type="checkbox"/> 健診結果の把握、教職員・保護者等への説明 <input type="checkbox"/> 保健所の依頼により服薬支援を実施

Q & A

Q1 結核は、どのような病気ですか。

A1 結核は、結核菌が体の中に入ることによって起こる病気です。

Q2 結核はどのように感染しますか。

A2 排菌している結核患者が咳やくしゃみをするときのしぶきと一緒に、空気中に結核菌が飛び散ります。周りの人が、空気中の結核菌を肺の奥まで吸い込むことで、結核に感染します。(空気感染)
多くの場合は、結核菌が体内に入っても、体の持つ抵抗力で追い出されてしまいます。

Q3 結核の感染と発病はどのような違いがありますか。

A3 感染とは、結核菌が体内に入っても、症状が何もない状態です。
発病とは、結核菌が体内で活動し、身体の異常や症状が現れている状態です。感染をしても、すべての人が発病するわけではありません。

Q4 結核の症状はどのようなものがありますか。

A4 咳やたん、発熱(微熱)、食欲不振、体重減少、寝汗、強いだるさなどの症状が出ます。
咳やたんはなく、食欲不振や体重減少やだるさだけが長く続くこともあります。
新型コロナウイルス感染症や風邪とも類似しているため、発見が遅れることもあります。

Q5 結核が疑われる症状(咳やたんなど)がある場合、どのように対応をすればよいのでしょうか。

A5 マスクを着用し、咳エチケットを守りましょう。
また、速やかに医療機関を受診し、胸部エックス線検査の実施を相談しましょう。

Q6 結核の治療はどのようなものですか。

A6 結核の一般的な治療は、4種類又は3種類の薬を6か月以上、毎日、服薬します。
服薬が不規則になったり、途中で中断すると、症状が悪化したり、薬の効かない菌(薬剤耐性菌)を作り出してしまう危険性があります。毎日欠かさず服薬することが大切です。
治療中は、結核医療費の一部を公費で負担する制度があります。また、保健所では、治療終了まで服薬支援を行っています。必要時、服薬の支援にご協力をお願いします。

Q7 結核の治療は、必ず入院するのでしょうか。

A7 排菌しており周囲に感染させるおそれがある場合は、入院治療が必要です。
周囲への感染させるおそれがない場合は、通院で治療をします。
通院治療中でも、菌検査の結果によっては、接客業やその他多数の人と接触する業務については、就業を制限される場合があります。就業の制限については、保健所が患者本人に説明します。

Q8 結核患者の使っていた机や物、部屋は消毒が必要でしょうか。

A8 必要ありません。

Q9 接触者健診はなぜ必要ですか。

A9 結核を発病している人や、感染している人を早期に発見するために行います。

保健所が、患者のたんに含まれている結核菌の量や、周りの人の年齢や接触状況などをふまえて検討して、健診を計画します。

Q10 接触者健診ではどんな検査を行いますか。

A10 対象者の年齢や健康状態と検査の特徴等をふまえ、検査の内容や時期を保健所が決めます。

- IGRA(イグラ)検査:血液検査で結核に感染しているかどうかを調べる検査です。感染後、約8週間は、検査しても感染が結果に現れないことがあります。
- 胸部エックス線検査:結核を発病していないかを調べる検査です。
- ツベルクリン反応検査:結核の感染の有無を調べる検査です。原則として、6歳未満の未就学児に行います。

Q11 潜在性結核感染症と診断された生徒・学生、教職員の対応はどうしたらよいですか。

A11 潜在性結核感染症は、結核に感染しているが、発病していない状態です。発病していないため、周囲に感染させるおそれはありません。

発病予防のために服薬治療を行っていても、通勤、通学はできます。

治療中は、結核医療費の一部を公費で負担する制度があります。また、保健所では、治療終了まで服薬支援を行っています。必要時、服薬の支援にご協力をお願いします。

Q12 学校・塾に戻ってきた患者の対応は、どうしたらよいですか。

A12 患者が入院治療を終え、学校・塾に戻ってきたときは、周囲に感染させる心配はありませんので、温かく迎えてください。患者は、引き続き通院、服薬治療が必要です。必要時、保健所と連携し、服薬支援をお願いします。

教職員一人ひとりが、結核についての正しい知識を持ち、患者が安心して治療を継続できるように支援をお願いします。

連絡先

結核に関して心配なことがあれば、

最寄の
保健所

又は

東京都福祉保健局
感染症対策部防疫・情報管理課
TEL03-5320-4483

までお問い合わせください。

令和4年3月発行 登録番号(3)391号

発行:東京都福祉保健局感染症対策部防疫・情報管理課

〒163-8001 新宿区西新宿二丁目8番1号 電話番号 03(5320)4483

印刷:株式会社オゾニックス

保健所・
保健センター
一覧はコチラ

